

大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 6 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年 9月29日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

感動いっぱい第64回体育祭

校長 中島 俊尚

台風18号の影響を受け、閉会式のみ翌週の火曜日に延期しましたが、第64回体育祭はたいへんな盛り上がりの中、実施することができました。保護者ならびになでしこサポーターのみなさまには今年も体育祭を支えていただき、誠にありがとうございました。

午前の部は新しい種目が目白押しでした。「世界記録に挑戦(70m走)」は100m走の世界記録に70m走で挑戦し、みごと世界記録を突破した生徒には放送係の生徒がマイクを持参し、インタビューするというユニークな種目になりました。レース直後にインタビューに応える生徒の声にとっても感動的なものもあり、プログラムの一番から観客席が大きく沸いていました。他に「台風の日」、「細胞分裂リレー」なども新しい種目でした。



午後の部は「部活動対抗リレー」に続き、男子演技「騎馬戦」、女子演技「綱引き」、さらに学年ごとの「ムカデ競争」、「学級選抜リレー」と伝統の種目が続きました。演技がすべて終了したところで、雨が降り出してきたので、閉会式のみ、延期を決めました。天候の影響でプログラムの「PTA演技」を省略してしまい申し訳ありませんでした。

体育祭特集の学年通信も続々発行されました。1年生の見出しは「感動いっぱい！どのクラスも頑張りました！！」、大原中では初めての体育祭、演技や係の仕事など苦勞も多かったと思います。でも先輩たちによくついていけました。2年生の見出しは「2度目の体育祭、熱き戦いと深めた絆！」、昨年度とは全く違う、先輩になって初めて味わう体育祭でした。個人としてもクラスとしても、大きくたくましく、そして豊かに成長した姿を様々な場面で見ることができました。3年生の見出しは「体育祭が無事終了しました—大魂(DAIKON) 勝利の方程式 心・力・感—」、さらに体育祭の中心で活躍してくれた体育委員のつぶやきも掲載されていました。その一部ですが、紹介します、「率直に 無事体育祭が終わってほっとしている」、「最後の体育祭だったので、最高の体育祭にしたいという気持ちがあった」、「体育委員はすごく責任が重くたいへんでした、けれどみんなが支えてくれて協力できて最後までやり切れました」、「全員リレーのときは周りに引かれるくらい大きい声で応援できた」。このような3年生の姿からも最後の体育祭で完全燃焼しよう！思い出をたくさんつくろう！そんな熱い思いが伝わってきました。特にムカデ競争の大接戦は今年も「さすが3年生！！」と感動しました。



こんなにすばらしい体育祭を実施できたという大きな自信を胸に、生徒にはこれからの学校生活を、誇り高い気持ちで送ってほしいと願っています。体育祭の1週間後、今度は2年生が中心となる、部活動の新人戦の壮行会が開かれました。各部の部長が全校生徒の前で、マイクも持たず、メモも持たず、地声で、新人戦の抱負を熱く語ってくれました。すばらしかったです。また9月27日の生徒会選挙を控え、朝の昇降口では立候補者が襷をかけ、大きな声であいさつ運動を繰り返しています。このような生徒の活気ある姿は体育祭のよい影響として表れたものとも考えられます。今後も体育祭のよい影響が日々の学校生活の様々な場面で見られることを期待しています。

結びに、1年生が取り組んだ敬老作文のお礼状が、地域のみなさまから昨年以上に数多く届いております。地域のみなさまの、大原中を見守る温かな気持ち、応援の気持ちなどが伝わってまいります。本当にありがとうございました。